

## 広 報 活 動

締め切りがないと、ついつい原稿を書かねばと思っているうちに時間が過ぎていく。昨年の秋口から、限られた時間を、男女共同参画推進に関することに優先的に割いていた関係で、広報活動の時間が少なくなってしまった。その間に登場したのが、着ぐるみカッチーくん。カッチーくん誕生のいきさつは既に昨年の7月29日に佐賀新聞の「佐大スケッチ」で紹介した。広報室で、この着ぐるみをお披露目の前に着てみた。「着る」と言うより、靴以外は「被る」という方がぴったり。靴は一人でなんとか履けるが、服と顔の部分は二人の人に手伝ってもらってなんとか被せてもらった。顔の部分は重くて長時間被っていると、還暦を迎えた身には堪える。長時間被っていると、鞭打ちになりそうだ。おまけに話には聞いていたが、前が見えない。手を引いてもらわなければ、歩く時不安だ。暑さ対策には、頭の部分に扇風機もどきのものがついている。ウルトラマンショーのアルバイトが大変きついと本で読んだことがあったが、これから暑くなるにつれ、カッチーくんは大変だろう。

そういえば、あの、はなわさんが大学に来てバラフピラフを作ったと言う。テレビ東京の番組で、一日を大学で過ごしたと聞いた。4月からの生協のメニューにこのピラフが仲間入りする。このようなことがないかと、ようやく時間がとれた二週間をかけて、マスコミや民間組織の方々のところをお訪ねした。大学のキャンパスからの放送とか、カッチーくんの番組出演とか、なんとか無料で大学の広報に結びつくものはないかとお願いをした。いずこもこの未曾有の不況、相手方の仕事にもなるような提案もされる。こちらも予算が減った身、なんとかお金を使わずに広報の機会を設けてもらうよう食い下がる。「大学がそこまでするのですか」と言われたり「今時、当然のことですよ」と励まされたり。博多で会ったマスコミのOBや観光関係の人から、役に立つ情報をもらうことができた。

現在、広報室には職員の伊東さんと松尾さん、早瀬室長を中心に向井理事と非常勤理事の私がいる。

私は、広報活動は、こちらからの情報を発信するだけでなく、公聴活動、情報収集、いいかえれば、情報を集中させて、学内でそれらを必要としている人に提供し、新たな活動が誕生するしかけづくりや危機管理の最前線としての仕事をこなす場であると考えている。基本的なことであるが「何のために、何を、誰に、いつ伝えたいのか」が重要で、これをはずすと、広報のための広報に陥ってしまう。学内で出版した印刷

物、イベント、研究、学生達のことなど広報室に情報を寄せていただきたい。

記者の方々も広報室を良く訪ねてきている。必要なことは情報発信を行ないたい。

さて、マスコミの方々をお訪ねしているうちに、理事就任直前にやめていたNBCラジオの情報ファイルサガ(夕方17時45分から)に4月2日から再度登場することになった。しまった!!また引き受けてしまったと思ったが、大学のいろいろを、また、情報発信していこうと気を取り直している。面白いことがあったら、広報室宛にお知らせください。



3月18日にサガテレビの番組「カチカチワイド」に生出演した“カッチーくん”(左)